

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 2

號四三三第・日六十月八輯編局報情

週報 眞實

敵を斬りつけた
時から
刀が
鳴り出して
いる

時の立札



盟邦の心腹を憂ふ国民



ドイツ製弾薬工場の組立工場。合理的な方式で大生産量が實現されている



盟邦の心腹を憂ふ。一生懸命、死闘を戦っているヒトラー。ユングの少年も、敵軍が勝つために最大限の努力をしようとする



食糧の増産確保に、ヒトラー・ユングが参加している戦時下のドイツ。努力不足を克服して今年の小作は昨年を上回ったといふ



労働者の組立に取組んでいるドイツ女性。こんどの戦時局で、ドイツ女子の勤労動員は十四歳から四十五歳までが、五十歳まで延長された。働き得るドイツの全女性が、生産場に駆り出されたのだ

今のドイツ国民の戦時生活をみて一番感ぜられるのは、彼等が戦争を全く自分のものとしておこなっていることである。すでに戦争が長期に亘り、また爆撃のため全土が文字通り戦場と化してある状態では、これは至極當然のやうであるが、それにしては戦後の全国民が前線の兵士と同じく、戦争といふものに正しく立ち向かっている。戦時生活に不可解の不安を興へてゐる。爆撃以外の面でも生活の重圧は勿論多いが、強制は厳然と行はれ、殊に国民全部が自分の責任に即して、いはゆる「義務の公平」が實現せられてゐるとの自信を持つてゐることは、どんな重圧にも堪へてゆく氣力と協同意識とを興へるものである。例へば徴取引の如き、政府の強制と統制主義とだけで押へられるものでないことは明らかだが、この点におけるドイツ国民の意識は高く評価されて差支へない。これを前線大戦時と比べれば、正に天淵の差である。このやうな國民的意識の基礎があればこそ、今回ゲラベルス連盟が命令したやうな思ひ切つた國民運動も、順次行はれ得る。



あつては、びんをびんを、手を一刀断る。石川

空襲の被害はもろくも無視できない。殊に都市に対するいはゆる盲爆は、完全な防衛の手段がないだけに、全くの非難國民に対する懲罰行為と化し、敵軍の無慈悲なやり方に對しては心から畏怖を感じざるを得ない。しかしその精神的影響は、敵の期待とおよそ正反対の結果を生みつゝあり、空襲によつてかへつてドイツ國民の結束を固め、犠牲心を昂揚せしめつゝあることは皮肉だ。昨年のハンブルグ爆撃時ですでに認められたことだが、ベルリン大爆撃を遂行して最近開始した日本人の話を聞いても、あの爆撃後かへつてベルリンの空気が朗明化され、街がした氣分がなくなり、市民が皆仲よくなつたといふ。つまり財産や持ち物などに執着してゐる間は、人間はなか／＼悟り切れぬものであるが、これが爆撃で皆やられてしまつたとなると、そこに本意に真一に還つて、皆で助け合つてゆかるといふ氣が生れて来る。これは爆撃に伴ふ大きな精神的教訓といふことができるが、一口に物質的といはれる西洋人が、これまで信じて來てゐる事實は、我々にとつても絶望の石となすべきであらう。

もちろんその裏にはドイツ政府及び黨部の對策が極めて有効迅速に行はれてゐることは見逃すべからざるが、ドイツ國民として、爆撃でどんなにひどい目に遭つても、最小限の衣食住は完全に保護されてをり、政府の措置に信頼してゐる大丈夫だとの安心を持つてゐることは、何といつても大きな意味である。娯樂なども、取上げて戦時色に染りつゝさうとせず、音楽、芝居、映画、運動など、空

襲下においても平常通りにこれを展開し、戦時生活に不可解の不安を興へてゐる。爆撃以外の面でも生活の重圧は勿論多いが、強制は厳然と行はれ、殊に国民全部が自分の責任に即して、いはゆる「義務の公平」が實現せられてゐるとの自信を持つてゐることは、どんな重圧にも堪へてゆく氣力と協同意識とを興へるものである。例へば徴取引の如き、政府の強制と統制主義とだけで押へられるものでないことは明らかだが、この点におけるドイツ國民の意識は高く評価されて差支へない。これを前線大戦時と比べれば、正に天淵の差である。このやうな國民的意識の基礎があればこそ、今回ゲラベルス連盟が命令したやうな思ひ切つた國民運動も、順次行はれ得る。

シ組織的地位について活動してゐるといふに、ドイツの戦時生活の不動の強味がある。全體主義ドイツのこの強味を理解し得ないのはデモクラシー諸國の致命的弱點であらう。先般起つたヒトラー總統暗殺未遂事件の如きなども、かかる強固な勢力の前には水のやうに消え去つてしまはねばならなかつた。プロシヤ軍閥の再興を企てる如き及動な將軍や貴族の一味が何を企てたところで、巨大な歴史の趨勢の前には無力であり、りもなく押し潰されてしまつたのは當然であらう。いはんや彼等一味が、この戦争を年々可成り盛んで片づけられると思つてゐたとしても、その愚かさに救ふべからざるものがある。この事件は一時的に統制に支障の題目を興へたことは否めれないが、ドイツ政府は常にこの機会をとらへて、總動員體制の完備を遂行し、戦後をさらに一段と引き締めることに成功した。殊にヒトラー總統が、全く助かり得ないと思はれない状態において、無罪を受けただけであつたことは、奇蹟といふのはかなく、これがどれだけドイツ國民に元氣をつけたか分らない。ヒトラー總統自身も、これをもつて、神から降された使命を従順に引續き遂行せよとの神意であると信じ、ますます挺身奮闘するの決意を明らかにしてゐられるのである。

開かれれば昨年初めスターリングラードの崩壊以来のドイツは、内外の環境安んずるの状況であつて、その間にドイツ國民の受け取つた精神的物質的な重圧は、益々強固に餘るものがある。しかしながら民族の偉大性、それがよく歴史を積み重ねるやうな威力は、かかる難局に當つてこそはじめて發揮せられるのである。心あるドイツ人がこの難局をもつて、神がドイツ民族に課した試練と解釋してゐるのは、ことに宜なるかなといふべく、さればこそドイツ國民はどんな苦難をも恐れず、その正面からこれに取組んでいつてゐるのである。

今回ゲラベルス連盟の命令した総力動員は、一見しただけでも決して生易しいものではない。しかし戦争が今日の段階に達した際において、如何なる他の理由があらうとも、それに従ひ、戦争遂行に協力を生ずるとは絶対に許されぬ。その意味で、ドイツは今や文字通り、國民の全力をあまらず総力を出してこれを戦力化せんとしてゐる。勝利のためにはあらゆる努力を盡し、仆れて後止まぬドイツ國民の意氣が、真に驚異としてゐる。我々は盟邦のこの奮闘に對し、衷心敬意を表するとともに、日英兩國が東西相争へて最後の勝利に邁進せんとの決意を、さらに深くするものである。



畫 郎太事田岩 圖像想戰奮軍勇義ンヤニテ

階段大重局戦ナアリマ

その後マリアナ方面の戦況は、刻一刻 隊 迫の度を増のみである

大本營總機(昭和十九年八月十日) マリアナ方面守備部隊その後の奮戦状況左の如し

- 一、大宮島に於ては敵上陸以來、明石街及び明和街を中心として敵に多大の損害を與へつゝありしが、現在は概ね明石街北方地區に戦線が縮小され、奮闘中なり
- 二、テニアン島に於ては北那覇隊に敵上陸以來、真兵を以て有力なる敵の南下を阻み多大の損害を與へしも、昨三十二日敵は遂に同島南部の我が最後の抵抗線に侵入し米軍隊繼續しあり
- 三、ロク島に於ては連日敵の進軍なる砲撃聲下を作りて敢闘し敵の上陸を阻止しあり

激戦の如く、或はは怒濤の如く迫り来る敵を支へて、將兵は奮戦を續けてゐる。正に何修繕となつて敵を撃つ神兵の姿が輝き浮ぶ。五體はこれすべて灼熱の國魂と化し去り、血潮はたゞ愛國の精神に燃えさかつてゐるであらう。しかも神兵は、帝國の必勝を信じて水ぎくに散華されてゆく

これに應ふる者は、われらもまた心の底から帝國の不败を絶叫することだ

殊にマニヤン島では、在留同胞のうち、十六歳から四十五歳までの青壯年男子およそ三千五百名が義勇隊を組織し、將兵と共に敢闘を續けてゐる。國民の總武装はすでに皇土の一角で實施され、しかも



隊員ンヤニテためんでん廟に廟練の道武らかか前戦、てつあに塔南の衛防土國

武器をとつた同胞は、この瞬間も敵と相搏つてゐるのである

義勇隊は命令されて起つたものではない。やむにやまれずといふより、祖先以來の血がからいふ場合、どうすればよいかはつきり訓へてゐる。その導きに欣んで従つたまでだ

いまこそ、皇土に生を享けたものは、一草一木にいたるまで、腥風にさつさつとそよいで怒りにふるへてゐると知れ

週問點占押

「すべてを戦争へ」これが決戦、國の今、われらの心構へでなければならぬ
大本營と政府との連絡會議に代つて、強力な最高戦争指導會議が設置せられた所以もまたこゝにある。政略兩略の融合なつて、戦争一本の効金は通り、總力振起の態勢全し

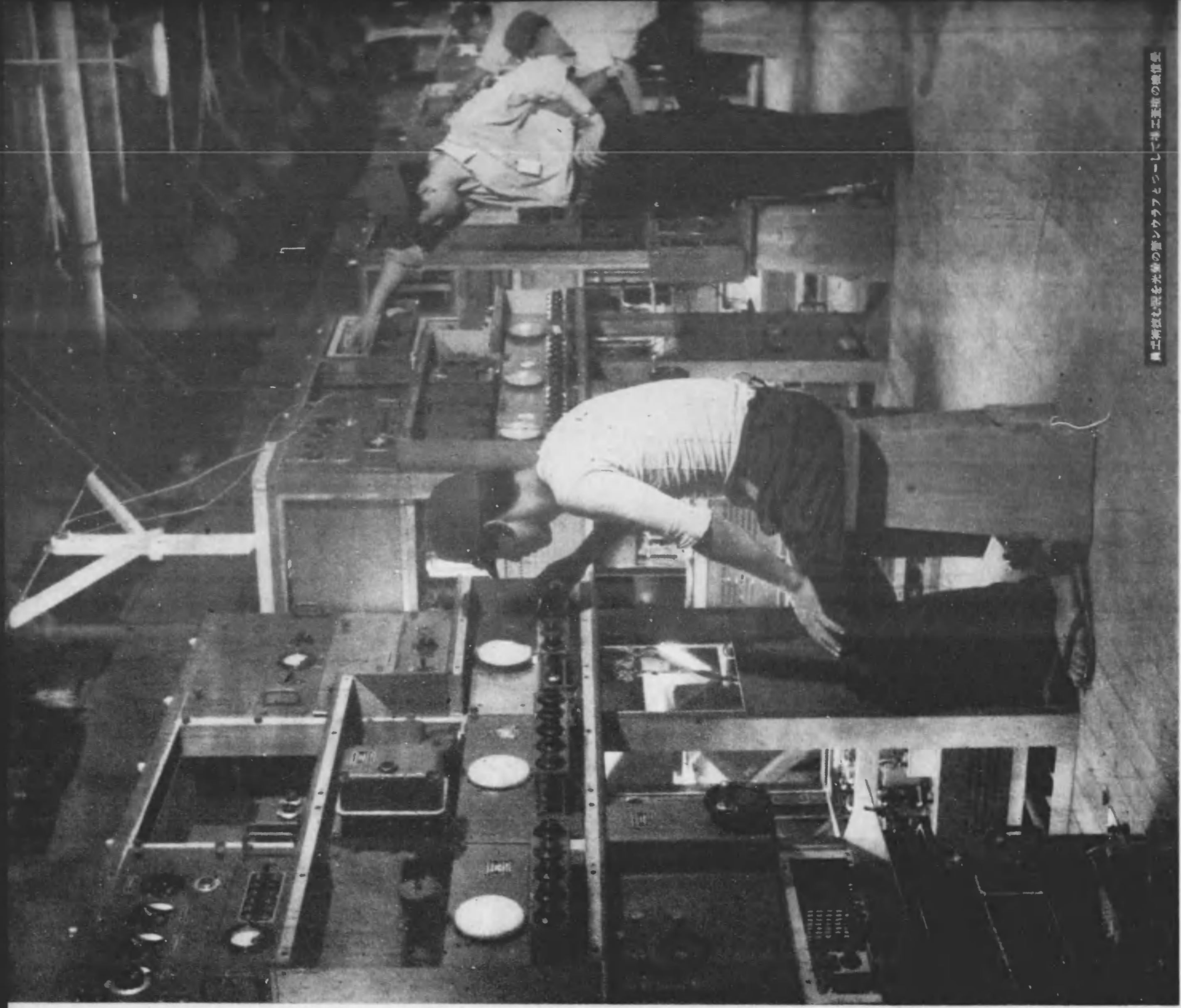
×
國難に到ることとに關した父祖の血が、われらの身の内に叫んでゐるではないか
「時は今だ」と
老いも若きも、男も女も總武装だ。國內敵に魂を燃え、魂を燃えて、マリアナの仇を報せん

前線では電波兵器が待っている

電波兵器は今度の大戰が生んだ革命的な兵器の一つであり、近代戦にとって如何に大切な兵器であるかは最近では誰でも知つてゐる。電波兵器の出現は、航空機とか、軍艦とか、大砲とか、攻防にそれぞれ、戦國の主力をなしてゐるあらゆる武器に、實に鋭敏な觸角を興へた。航空機も、潜水艦も、この觸角から逃れて敵を奇襲する事は出来ぬ。一方、電波兵器は、電波の電磁波の性質を利用して、遠くから敵の陣地を攻撃する事が出来る。電波兵器は、電波の電磁波の性質を利用して、遠くから敵の陣地を攻撃する事が出来る。電波兵器は、電波の電磁波の性質を利用して、遠くから敵の陣地を攻撃する事が出来る。

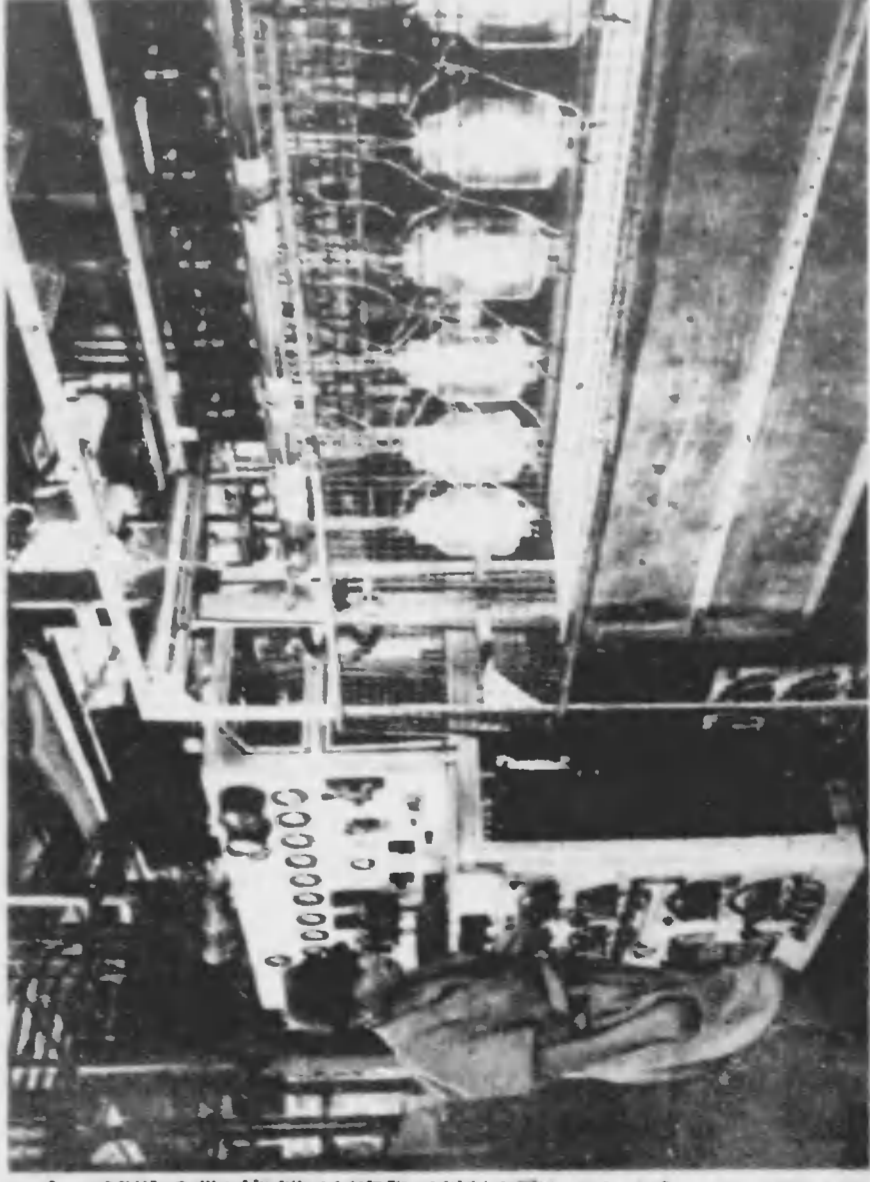
でも、また戦後でも、この觸角によつて正確に目標を捉へ、確實にこれを攻撃することが出来る。電波兵器を持つてゐるとおかないのでは、正に目撃と音の戦争だ。またその威力によつては、小銃と大砲との射ち合ひになつてしまふのである。現在、二機でも一機でも、前線から要求されてゐる。しかし、

とを忘れてはならないのだ。電波兵器を持たずに敵の陣地に突込んでゆく雷撃機は、目撃して敵の陣地の前に立大されるのと同じ。一機二機、さらに一機でも多くの電波兵器を、これこそ前線の



■ 工務部は電磁波兵器の管仲ウラアとこーしーで工務部の職信受

▷ 大空軍の要員多く、組立作業に要する女子挺身隊員。こゝでは各種の組立機が組立てられる



▷ 電波兵器の組立作業には精密な作業を要する。多量と、電波を叩き出す風情にも似た勇ましい汗だくの仕事である

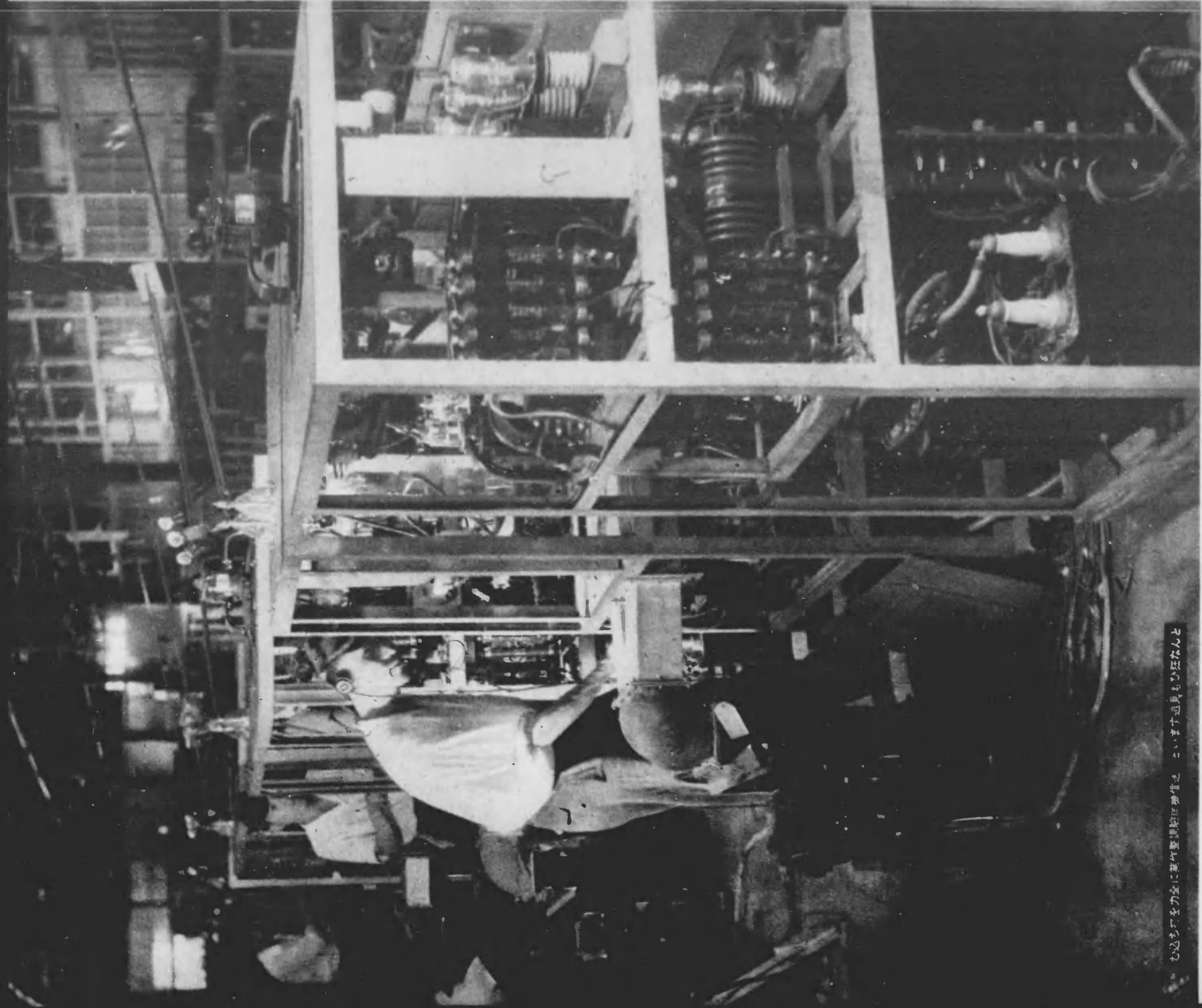


前線では電波兵器も待っている

電波兵器は今日の大戦からいふ所の新兵器の一つであり、現代戦に於て如何に大切な兵器であるかは最近では軍でも知つてゐる。電波兵器の出現は、航空機とか、軍艦とか、大砲とか、軍防いつれにせよ、戦國の主力をなしてゐるあらゆる武器に、實に敵軍の陣地を襲へた。航空機も、潜水艦も、この陣地から逃れて敵を奇襲することは出来ない。一九三九年航空機は、陣地の中でも、霧の中

でも、また潜水艦でも、この陣地によつて正確に目標を捉へ、陣地にこれを攻撃することが出来る。電波兵器を持つてゐるとおぼえないのでは、正に目撃と實の戦争だ。またその機劣によつては、小銃と大砲との射ち合ひになつてしまふのである。現在、二機でも一艦でもと、前線から要求されてゐる。しかし、その二機、一艦には必ず優秀な電波兵器をつけてやらねばならぬ

とを恐れてはならないのだ。電波兵器を持つてゐるに敵の陣地に突込んでゆき、電波兵器は、目撃して敵の陣地の前に立たされるのと等しい。一機一艦、さらには一基でも多くの電波兵器を、これこそ前線の要領に懸けるわれらの軍務でなければならぬ



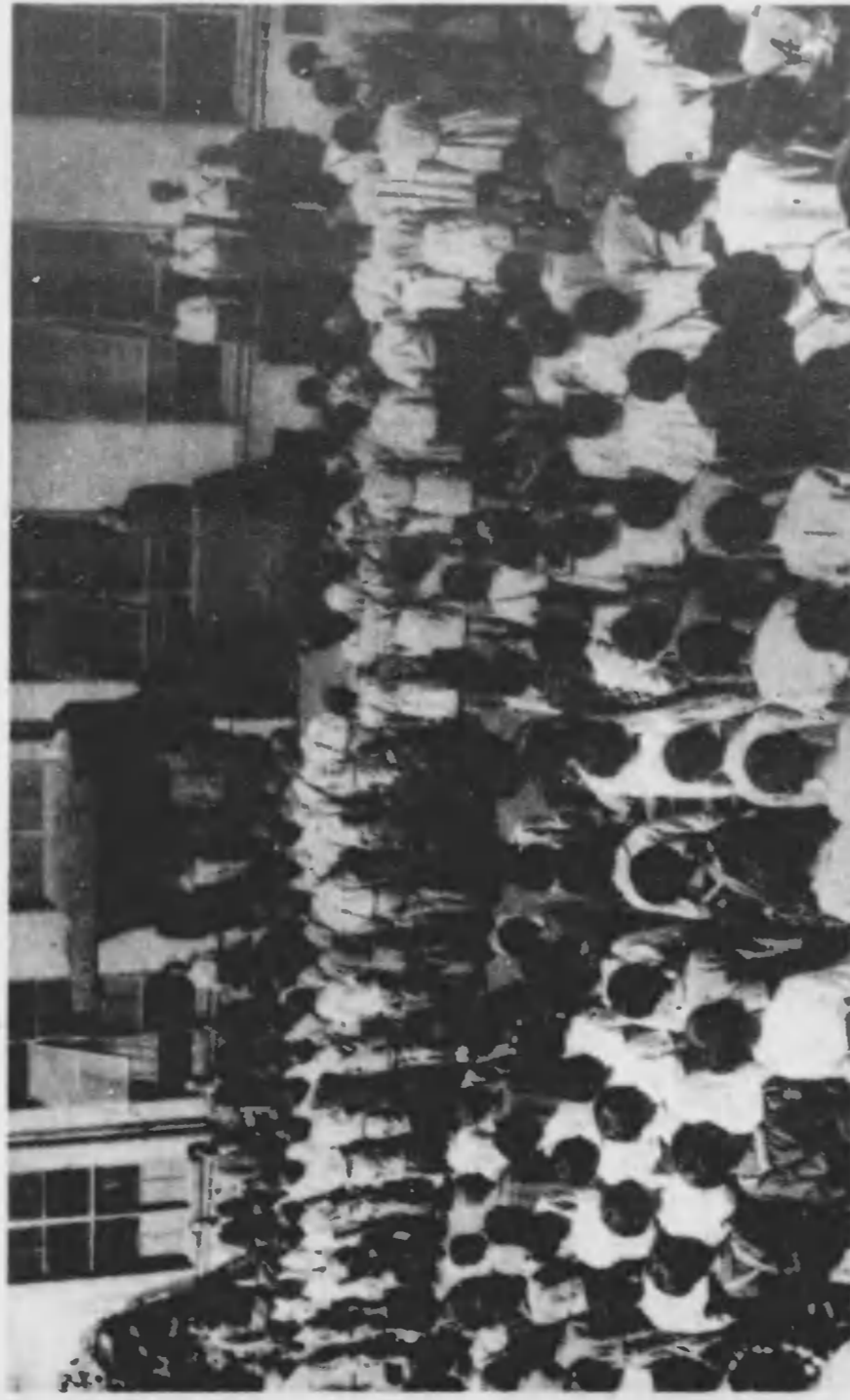
むらもろを力全に製作電機機は研習せ、こいまま進身もひ坦なんと

□一寸の銅線でも無事にすまいと細心の注意を精究にこめず



□しなやかなその指先が、電波兵器の心臓部である電機機を正確に、迅速に調整してゆく





進開疎団集の童学 は日勝のま

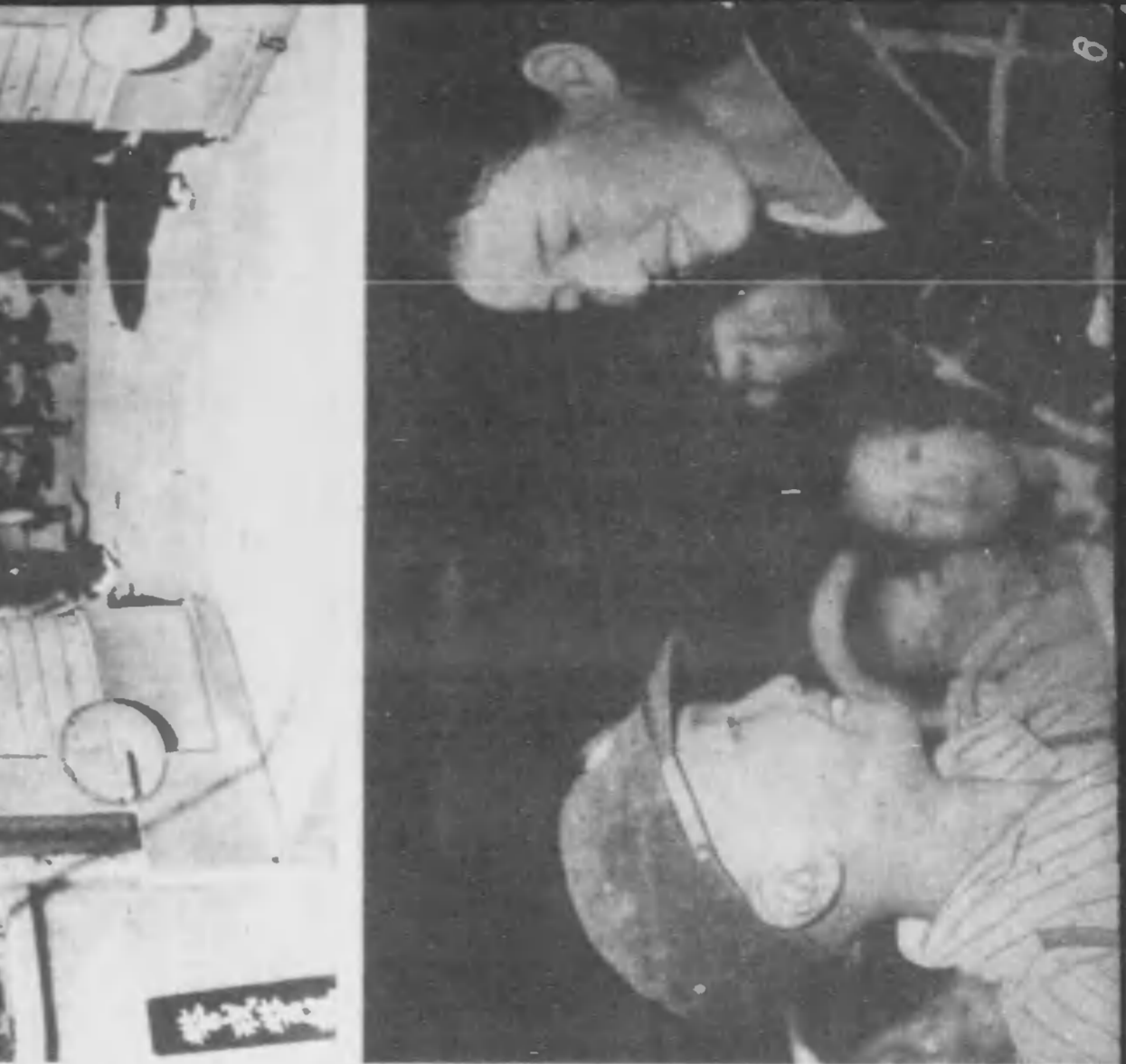
- 1 出発も近づいた頃、子供会のお友達が集つて壮行會をやってくれました。町会長さんもお見えになつて、面白いお話をして下さいました。
- 2 今日はいよいよお荷物の出る日です。先生やお父さんお母さん方が大動隊校に集つて、勸勞作をなさいました。私達もみんなでお手伝ひいたしました。
- 3 歸へいつてきましたら山のやらの荷物でした。歸の人達が、疎開児童の荷物は早く送つてやれと、いつてお返していただきました。
- 4 出発の朝は八時に学校へ集つてお別れの式をいたしました。昨夜から警戒警備が出ておりましたが、お父さんやお母さんをばじめ、隣りのお友達がみんな勇ましい防空服で送つてくれました。

- 5 いよいよ出発です。萬歳の聲に送られ、元氣で校門を出ました。水い間禁しく熱い太陽が去るときはまよつと淋しくなつたけれども、戦争に勝つためにはどんなことでも我慢しようと思ひました。
- 6 休憩のときお母さんのところへゆくと、「我慢しないで勇気に氣をつけてね」と、また同じことをいはれました。お母さんたち、今朝からもうこれで五〜九日です。
- 7 陣内に入ると、もろびらの乗る列車が着いておりました。先に乗つたお友達が窓から顔を出して、「早く早くといふので、みんな駆け出してしまひました。まるで遠足にゆくときのやらの賑やかでした。

大都市の児童集開疎団が八月から東京都を皮切りに展開された。國內即戦場の現代戦では、大都市は最後の主陣地であり、當然敵の空襲を警戒せねばならないので、一つは防空態勢の整備のため、一つは明日の國民の保護のため、なるべく多数の児童を近隣の安全な地域に疎開させねばならない。

今度の集開疎団は、全國で三年以上六年生までの児童約四十万が疎開され、そのうち東京都は二十万であつたが、中には豫定数を六方も突破した。それに終戦疎開列車を加へれば、實に莫大な敵となる。

この大きな成業の遂には、並々ならぬ當局の努力と、州觀の決断と、地方の協力があつた。幾多の困難を毅然とふかきこえて、國家の大きな保護の下に、親も子も笑つて勝利の道を選んだ。地方の山野は遠くこれらを見て、早くも児童の集開をやり上げてゐる。戦ひの前には小さな離別の悲しみを乗り越えたヨイヨイたちは、終戦の日までを楽しい進軍生活に明け暮れようと決意してゐるのだ。

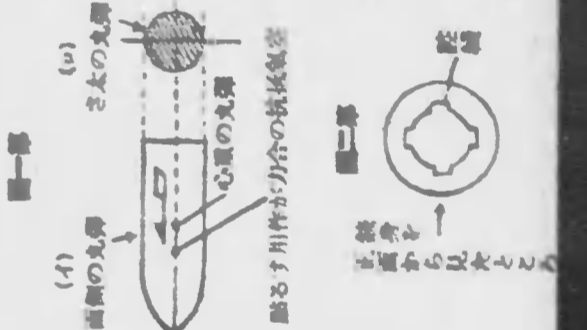


陸軍の話

みなさん、この題が読めますか—あ、あ、と驚かすのです。陸軍とは、では一機なんのことでせう。

中等学校の方はもちろんのこと、国民学校の皆さんでも日本のコイコなら、兵隊さんの持つてゐる小銃の銃身の内側に銃口の形が切つてあることと、その形によつて発射された弾丸が射撃されて、既成に飛んでゆくのだといふことくらいはご存じでせう。陸軍とはその講のことなのです。

陸軍の主力から一機銃のやうな小さなもので、およそ細長い弾丸を打ち出すものには必ず銃筒が切つてあります。いま細長い弾丸といひましたが、現代の弾丸はみな（二）のやうな形をしてゐますね。これは弾丸をなるべく遠くまで飛ばせるためで、弾丸は一定の重さの弾丸の空気抵抗は弾丸の太さ、つまり、空気を押し分けて進む抵抗（三）が小さいほどよいわけ、進めば（四）の距離を飛ばすので、弾丸の前方を重くするほど弾丸は遠くへ飛ばすことができるのです。従つて弾丸は太さより長さをやつと長くするやうになつたので



ところが陸軍の古い銃でこの弾丸を撃つると、弾丸は後向きに飛ぶなどおかしな方向をとり、とても空気が流れるところではあつません（弾丸はすべつたが、弾丸は飛ぶ時の空気抵抗が第一（二）のやうに弾丸の重心より前方に偏るからです）。

では陸軍があれほどおかしな方向を飛ばすか、弾丸を撃つると弾丸は陸軍に飛び込んで陸軍の陣地に突いて倒れさせられ、非常な苦痛で倒れながら飛ぶからで、陸軍には、コトが倒つてゐる間にはおかしな方向に、飛ぶ方向の方向を一定に保たうとする性質があるからでせう。

陸軍の重小銃は四本、二十四センチ八十四口径、採れ方は種々ですが、小銃についていへば約二十センチの長さで二回弾丸が飛ぶ。従つて小銃を撃つた時の弾丸の速さは、一時間に六百メートルほどですから、弾丸は一時間に約三千里も飛ぶから飛ぶことになつてゐるのです。

この陸軍があれほど細長い弾丸を用ひられ、重い弾丸であれば三十五センチ、四十センチ、飛ぶのです。

空襲下の電報・電話の心得

「君の家はみんな死んだ。君のところは大丈夫だつたか」

などといふやうな電話をあわてて空襲後にかけようと思つても、かけられません。では空襲時には、郵便や電報や電話のいはゆる通信はどんなやうに制限されるでせうか。まづ第一に

重要緊急な通信

を保障なく行へるやうにしなければなりません。そこでやむを得ず、よだん行はれてゐる通信も必要に際し陸軍や海軍を定めて、一部または全部の制限を行つたり、或ひは業務の停止を行ふことになつてゐますから、国民はあらかじめ相當の準備を準備してゐなければなりません。勿論どらういふものがどらういふやうに制限されるかは、郵便局や電信局、電話局などに相談されますし、ラジオや新聞でも知らせますからよく分ります。まづ初めに

郵便

について申し上げます。空襲下には制限される郵便物の制限は左の如きものであります。

- 一、引受の制限

急送が困難になつた場合、大きさや目方を減らしたり、または差出数量を制限することがあります。
- 二、引受の停止

（イ）小包や新聞、雑誌、紙貨などは必要に

（エ）災害地へは、見舞、安否の問合せなどは一切取扱ひません。

（オ）災害地からは、自己の安否、それから空襲の模様や被害の有様などを知らせる電報は出せません。例へば「ヨチラチタキニケイホウハワレイシカヘリオクレル」といふやうな電報は、敵が甚だ空襲材料をみずく、襲へるやうなものですから、自分勝手な内容の通信は得てして利敵行為になる

（ハ）通達や留書のやうな特殊取扱も行はれなくなる場合があります。

（ニ）遺言や書状はどんな場合でも取扱ひ方針ですが、最後には遺言だけになることもあります。

三、配達の特例

配達回数を減らしたり、或ひは配達ができないときは、町内倉、部倉または指定の場所まで郵便物をとりまとめて配達するが、または郵便局まで受取りに来て貰ふことがあります。次に

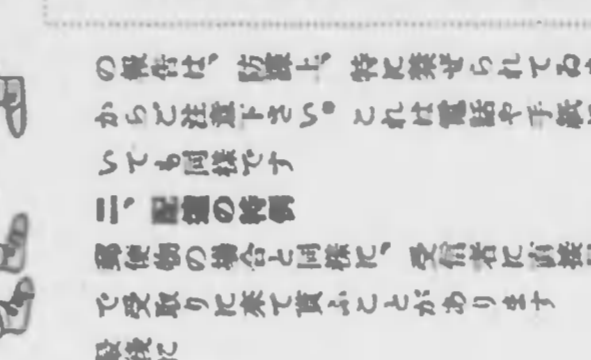
電報

でありましたが、これは大體、平時行はれてゐる制限がさらに強化されるもので、既に重要な用件以外のものは取扱ひはないことがあり、そのほか左のやうな制限がとられます。

空襲下の電報・電話の心得

「おかげさまで、でも、とてもひどい空襲で町が全滅になり、やつと助かつたさうですわ」

空襲の模様、被害状況は断つて書いてはならぬ。万一、そんな不心得な手紙を受けても、すぐ焼きすてて決して口外するな。敵は空襲材料を探し廻つてゐるのだ。



災害による被害者や遺棄者が電報を打たうと思つても、現金を一銭も持つてゐないときは、電報料金の受信人拂といふ特別な取扱がある。

「罹災者が打つても差支へないのは、ラジオやソチノタカ、カヘレ」

といふやうな打合せのごく簡単な電報に限られる。

「罹災者が打つても差支へないのは、ラジオやソチノタカ、カヘレ」

といふやうな打合せのごく簡単な電報に限られる。

一般加入者の電話は、話局で切ることも、公衆電話局の窓口に取次ぶ通話はできるだけ取扱はれる。

「罹災者が打つても差支へないのは、ラジオやソチノタカ、カヘレ」

といふやうな打合せのごく簡単な電報に限られる。

「罹災者が打つても差支へないのは、ラジオやソチノタカ、カヘレ」

といふやうな打合せのごく簡単な電報に限られる。

と考へて、よく／＼紙をつけねばなりません。

（ハ）襲するに災害地からは被害者が重要な遺棄物の打合せをするための通信は差支へありませんが、被害の模様は断つて避け、必要なことだけを最小限に通信する心算でなければなりません。空襲状況



「おかげさまで、でも、とてもひどい空襲で町が全滅になり、やつと助かつたさうですわ」

空襲の模様、被害状況は断つて書いてはならぬ。万一、そんな不心得な手紙を受けても、すぐ焼きすてて決して口外するな。敵は空襲材料を探し廻つてゐるのだ。

災害による被害者や遺棄者が電報を打たうと思つても、現金を一銭も持つてゐないときは、電報料金の受信人拂といふ特別な取扱がある。

「罹災者が打つても差支へないのは、ラジオやソチノタカ、カヘレ」

といふやうな打合せのごく簡単な電報に限られる。

「罹災者が打つても差支へないのは、ラジオやソチノタカ、カヘレ」

といふやうな打合せのごく簡単な電報に限られる。

「罹災者が打つても差支へないのは、ラジオやソチノタカ、カヘレ」

といふやうな打合せのごく簡単な電報に限られる。

「罹災者が打つても差支へないのは、ラジオやソチノタカ、カヘレ」

といふやうな打合せのごく簡単な電報に限られる。



空襲下の電報・電話の心得

「君の家はみんな死んだ。君のところは大丈夫だつたか」

などといふやうな電話をあわてて空襲後にかけようと思つても、かけられません。では空襲時には、郵便や電報や電話のいはゆる通信はどんなやうに制限されるでせうか。まづ第一に

重要緊急な通信

を保障なく行へるやうにしなければなりません。そこでやむを得ず、よだん行はれてゐる通信も必要に際し陸軍や海軍を定めて、一部または全部の制限を行つたり、或ひは業務の停止を行ふことになつてゐますから、国民はあらかじめ相當の準備を準備してゐなければなりません。勿論どらういふものがどらういふやうに制限されるかは、郵便局や電信局、電話局などに相談されますし、ラジオや新聞でも知らせますからよく分ります。まづ初めに

郵便

について申し上げます。空襲下には制限される郵便物の制限は左の如きものであります。

- 一、引受の制限

急送が困難になつた場合、大きさや目方を減らしたり、または差出数量を制限することがあります。
- 二、引受の停止

（イ）小包や新聞、雑誌、紙貨などは必要に

（エ）災害地へは、見舞、安否の問合せなどは一切取扱ひません。

（オ）災害地からは、自己の安否、それから空襲の模様や被害の有様などを知らせる電報は出せません。例へば「ヨチラチタキニケイホウハワレイシカヘリオクレル」といふやうな電報は、敵が甚だ空襲材料をみずく、襲へるやうなものですから、自分勝手な内容の通信は得てして利敵行為になる

